

Ⅲ. 保母からの支援

那覇市療育センター保母 玉城珠美

1. 障害児保育－遊びの展開－

(1) 人工呼吸器を付けているケースは入院→長期外泊→在宅……と生後数年間子ども、そして親にとって精神的にも肉体的にも生活していく上でかなりの制限を受けてきている。

家庭に於いては工夫しながら前向きに育児に取り組んできたようであるが、昼間は母子だけで過ごしていることが多く刺激に乏しいこと、年齢的にも人との関わり、生活経験の幅を広げていくためにも保育が必要と思われる。

① 母子通園での受入れについて

子どもの状態について専門スタッフ（理学療法士・心理）から情報を提供してもらおうと共に子どもの事をよく知っているお母さんからの情報を大切にする。

② 保育していく上での留意点

- ・体温調整が難しい為快適に遊びに取り組める様に環境を工夫する
- ・生活の幅が限られていた事による経験不足が考えられるため子どもの様子を見ながら、人や玩具への関わりを積極的に広げていく
- ・人工呼吸器・アンビューを使用しているため子どもの表情の変化を確認

(2) 保育の取組について

通園開始時の子どもの姿からあげられた課題を保母としてどの様に関わっていけるか、どんな子に育ってほしいかを基本に遊びの内容を考える。

〈K君の事例から〉

① 姿

仰向けの姿勢が多いため見る範囲が狭い、腹這位を嫌がり、抱いての座位姿勢にもぐずりがみられた、人見知りが激しい、玩具を触れるのを嫌がる。暑さに敏感でぐずりだす。

② 好きな事を見つける

遊びの中で揺さぶりが好きであることに気づき、好きな遊びを通して苦手な事にも慣れ、座って見る事で視野が広がり見る力や人やものに向かう気持ち、期待する気持ちを育てたいと考えホーススイング、ブランコ、ハンモック等での遊びを取り入れることにした。

例) ハンモックでのかかわり

お母さん以外の人に気づく→揺らし始めにしっかり声をかけ、揺らしながら目を合わせ、下の方からお尻をポンポンと叩いて言葉をかけ、揺らししている途中で抱きとめそして「もう一回したい人」と尋ね子どもの気持ちに合わせ歌を歌い、終わりの時「おまけの汽車ポッポ」等と声かけに変化をもたせるようにする、その時子どもの表情をしつかり見ること、揺さぶりや手あそび身体へのタッチ、玩具に触れる等の遊びを通して、子どもに自分の身体を認識すること、周りや外の世界を認識し、自分から動いてみたい触

れてみたいという気持ちを育て、そして変化をとらえ自分から関わってみたいという気持ちを育てる、この事は子ども達の発達するための基本的力を育て、そして生きていくための力につながっていくものと思う。

※人工呼吸器を付けているといろいろな活動が制限されるように考えてしまうが、少し工夫すれば大抵の活動が可能である。

例) プールあそび、糊あそび

プールあそび、糊あそびなど管から水が入らないようにテープでしっかりおさえアンビューを使い、慣れてくると大好きなあそびの一つとなりました。

積木、ボール、絵本など仰向け、横むき、椅子の傾斜を子どもの体調に合わせて工夫し座らせる事で保母や母と向き合い遊ぶ、経験不足で触れることの苦手だった色々な素材にも積極的に手を出し満足した笑顔を見せる、保母や母と一緒に遊ぶことで子どもが好きなこと、苦手なことを知ることができる、母や保母が楽しんでいるのを見ることで子ども自身もより気持ちを向け身体を動かし笑顔も増えて声を出して自らの気持ちを表現するのです。

2. 母子関係の確立

母子関係は相互作用である

(1) 母子のつながりは本能的なものなのだろうか

親は子どもに対して授乳時、おむつを替える時、沐浴時等に声をかけ働きかけている、しかし子どもからの反応が乏しいと親自身戸惑いの中に入ってしまう親の働きかけも子どもに対して弱くなってしまいがちで精神的に不安定な状態になってしまうであろう。

(2) 保育の中で気をつけていかなければいけない事は

反応の弱い子であっても、その障害の程度に関係なく子どもに対して、また母に対しても互いに返ってくるものがあるように、子どもの細かい動きを見逃さず、子どものメッセージを読み取り親に伝え共有していく過程を大切にしていく。

・ゆっくりした子どもの動きだが確実に変化していることを知らせ親と共に喜び合う

子どもの笑い、泣き、動きなど親に対して意味づけると同時に関わり方など例をあげ、そして一緒に遊びを楽しむ中で親に子育てに対しての期待や手がかりを与え、子どもと向き合う気持ちを高めていく

特に母子通園をする年齢の時期は子どもにとっても母親にとっても互いを認め合う大切な時期だと思う。保母は母子がよい関係を作れるようにサポートする大事な役割を担っていると思う。

～Q&A～

人見知りなどへの対応

Q1. 人見知りの激しい子ですがどうしたらいいでしょう

A . 子どもの好きな遊びや玩具を見つけ、子どもが見やすい位置に玩具を準備し「あれ？あの人何しているのかな、楽しそうに遊んでいる、おもしろそうだ、あの人に近づいても大丈夫そうだ」と感じてもらうよう強い刺激を与えず同じ部屋で母との関わりを中心に安心感を与えるようにしてみるといいと思います。強引にこちらのペースに引き込もうとせず認めてあげるように接していけばゆつくりと慣れていくことが多いようです。

Q2. 子どもの表情がわかるようにするにはどうしたらいいのでしょうか

A . 障害の重い子の反応が弱く表情の変化をとらえることは難しいのですがしっかり向き合くと子どもが色々と教えてくれます。目の動き、唇の動き、息づかい、手指の動き、機嫌はどうか等母親とまわりの人が子どもの表情を読みとり意味づけていくと子どもの伝えたいことがわかってくると思います。

<メモ>

～役に立つ情報～

障害を持つ子の保育や子育てへの支援

1. 障害児通園（デイサービス）事業等

障害児通園事業は市町村が実施主体となって、障害を持つ子どもたちの育成を地域社会が一体となって支援することを目的とする事業です。内容は母子通園による保育が中心で、そのほかに各種の相談、発達検査、機能訓練などが行われます。ここではことばの指導教室なども含めて紹介します。詳しいことは各施設にお問い合わせ下さい。

〈障害児通園（デイサービス）事業等 施設一覧〉

設置主体	施設名	〒	住所	☎
那覇市	那覇市療育センター	901-0151	那覇市鏡原町10-40	098-858-5206
浦添市	たんぼぼ	901-2111	浦添市経塚109-2 経塚ゆいまーるセンター 2F	098-875-1502
宜野湾市	愛育園	901-2205	宜野湾市赤道2-7-1 宜野湾市社会福祉協議会	098-892-6525
沖縄市	つくし園	904-2143	沖縄市知花690	098-934-1283
具志川市	すくすく	904-2214	具志川市安慶名251 安慶名保育所	098-972-3847
名護市	幼児ことばの教室	905-0014	名護市港2-1-1 名護市民会館	0980-53-3942
石垣市	ひまわり	907-0012	石垣市美崎町11-4 東和第一マンション 1F	09808-2-7111
豊見城村	ふたば園	901-0212	豊見城村平良467-4 豊見城村社会福祉協議会	098-856-2782
南風原町	ゆうな園	901-1116	南風原町照屋 1 南風原町社会福祉協議会	098-889-3213
西原町	あゆみ	903-0117	西原町翁長665 坂田保育所	098-945-5306
読谷村	ふくぎ園	904-0301	読谷村座喜味2975 読谷村社会福祉センター	098-958-2939
本部町	幼児ことばの教室	905-0212	本部町大浜881-4 本部町社会福祉協議会	0980-47-6655
今帰仁村	障害児通園事業	905-0401	今帰仁村仲宗根230-2 今帰仁村社会福祉協議会	0980-56-4742
社会福祉法人	沖縄小児発達センター 肢体不自由児通園	904-2173	沖縄市比屋根629	098-932-6077
社会福祉法人	沖縄整肢療護園 肢体不自由児通園 園及び重症心身障害児通園	902-0064	那覇市寄宮2-3-1	098-832-3283
社会福祉法人	名護療育園 重症心身障害児通園	905-0006	名護市宇茂佐1765	0980-52-0957

2. 児童館

児童館とは、地域社会における児童のレクリエーションセンターとして、児童に健全で楽しい遊び場を与え、心身の発達向上をはかり、その育成につとめることを目的とする公立の施設です。そこには専任の指導員が配置され、不特定多数の児童を対象に遊びの指導を行います。

3. 地域子育て支援センター

子育て支援センターは、子育てに不安や悩みをお持ちのお母さん、お父さんに対して、子育てが楽しくなるような情報の交換や相談を行うとともに、親子が自由に遊べる場所を提供する施設です。

※児童館、子育て支援センターは各市町村の福祉事務所や児童福祉の担当窓口、または地域の当該施設へ直接お問い合わせ下さい。